

参加者へのご案内

1. 当日の受付

場所：北海道大学 学術交流会館 ホール（札幌市北区北 8 西 5）

日時：12 月 20 日（金）9:00～17:00

受付にてお名前とご所属をお伝えいただき、講演要旨集をお受け取りください。

2. 講演要旨集

講演要旨集（冊子体）は当日会場にて配布します。参加登録者には、ご希望があれば後日 PDF ファイルを送付できますので、メールにて eeg-moushikomi@ml.hro.or.jp までお申し込みください。

3. 口頭発表および基調講演

（1）発表時間

発表時間は、口頭発表：講演 12 分・質疑応答 3 分（計 15 分）、基調講演：講演 25 分・質疑応答 5 分（計 30 分）です。

（2）発表方法

発表は、各自持参の PC をプロジェクタに接続していただくか、ファイルを USB メモリで持参いただいて事務局が準備する PC で発表していただきます。接続ケーブル（HDMI）は 1 本のため、PC 持ち込みの場合は差し替えとなります。

USB メモリから事務局の PC にファイルをコピーする際は、発表スライドの区別のため、ファイル名の先頭に講演番号を記載してください（例：01 環境太郎.pptx）。ファイルのコピーはセッション前の休憩時間に各自で作業をお願いします。なお、事務局の PC にコピーした発表データは、シンポジウム終了後に事務局で責任を持って消去いたします。

発表時に動画再生を行う場合は、ファイル容量や動作の不確実性の観点から、ご自身の PC での発表をお願いします。

発表の際は演者ご自身で PC 操作を行ってください。円滑な進行のため、PC の入れ替えや接続トラブルによる発表時間の延長はいたしませんのでご注意ください。

発表に使用する PC については以下のとおりです。

ア ご自身の PC を持参する場合

- ・ Windows、Mac のいずれも使用可能です。
- ・ 接続は HDMI のみとなります。変換コネクタが必要な場合はご自身でご持参ください。また、PC は十分に充電された状態でご持参ください。

イ 会場設置の PC を使用する場合

- ・ OS：Windows 11
- ・ 使用ソフト：Microsoft PowerPoint（Home&Business 2019）
- ・ データコピー：USB メモリが使用可能（Type-A のみ）
- ・ LAN には繋がっていません。

ウ USB メモリのご利用ができない場合

所属機関で USB メモリがご利用できないなどの特別な事情で、ア・イとも困難な場合には、必ず 12 月 18 日（水）までにその旨をメールにて事務局（eeg-moushikomi@ml.hro.or.jp）までお知

らせてください。当日は、事前にお送りいただいたスライドデータを PC に予め保存しておきます。

(3) 座長の方へ

受け持ちの研究発表の開始 5 分前までに「座長席」にご着席ください。

発表時間は、口頭発表：講演 12 分・質疑応答 3 分（計 15 分）、基調講演：講演 25 分・質疑応答 5 分（計 30 分）です。進行の一切は座長にお任せいたします。トラブル等が発生した場合は、やむを得ない場合を除き、各発表者の持ち時間内で処理してください。

4. ポスター発表

(1) ポスターの作成要領

ポスターは A0 判縦（横 84.1cm、縦 118.9cm）のサイズを超えないように作成してください。

(2) ポスターの掲示

ポスター会場は、学术交流会館ホールです。パネル上部左側に講演番号（約 10cm×20cm）を掲示しております。プログラムでポスター番号をご確認の上、指定された番号のパネルに 11:00 までに掲示してください。画鋏等は会場に用意します。

ポスターセッションは、11:25-13:05 に行います。**ポスター番号が奇数の方は 11:25-11:55、偶数の方は 12:35-13:05** にポスターの前に立ち、参加者の質疑に対応してください。なお、この時間は昼休憩を兼ねていますので、参加者および発表者は各自時間を調整の上、昼食をとってください。

(3) ポスターの撤去

ポスターの撤去は、15:30 までをお願いいたします。それ以降に掲示されているポスターは事務局で撤去します。

5. その他

- (1) 講演要旨集は会場でお渡しします。手提げ袋は準備しておりませんので、各自のカバン等をご利用ください。
- (2) 会場に駐車場はありませんので、公共の交通機関をご利用ください。ただし、障がい等の理由により特別な配慮が必要な場合は、12 月 18 日（水）までに事務局までお問合せください。
- (3) 敷地内および周辺道路は全面禁煙です。
- (4) 口頭発表会場（小講堂）にて携帯電話での通話をご遠慮ください。
- (5) ゴミはお持ち帰りください。
- (6) 会場内での呼び出しは行いません。
- (7) 昼食は、キャンパス内の食堂や大学正門前周辺の飲食店もご利用できます。
- (8) ゲスト用の無線 LAN は用意しておりません。
- (9) 会場は 18 時で完全閉鎖となります。18 時までの撤収をお願いします。
- (10) 会場には荷物預かりはありません。
- (11) 参加者が多く、小講堂内は混雑が予想されます。席に余裕はありませんので、荷物はご自身のお席にてお持ちください。

北海道気候変動影響研究シンポジウムプログラム

日時 令和6年12月20日(金) 9:30~17:20

会場 北海道大学 学術交流会館 小講堂 (口頭発表)、ホール (ポスター発表)

●開会あいさつ(9:30~9:35) (山田 朋人)

●事務局連絡(9:35~9:40) (鈴木 啓明)

●口頭セッション 3 題 (9:40~10:25)

01 北海道地方の気候変化と近年の夏の天候

○河原 恭一(札幌管区気象台)

02 気候変動が保健医療システムに与える影響：救急医療を例に

○上田 佳代(北海道大学大学院医学研究院), 信田 龍之介(北海道大学医学部医学科), Seposo Xerxes, Uttajug Athicha, Muhammad Abdul Basit Ahmad Tajudin, 新井 明日奈(北海道大学大学院医学研究院), 高橋 恭子(小樽商科大学)

03 北海道のナキウサギへの気候変動影響～分布に着目して～

○崎山 智樹(北海道大学農学研究院), ホルヘ・ガルシア＝モリノス(北海道大学北極域研究センター)

●休憩(10:25~10:35)

●口頭セッション 3 題 (10:35~11:20)

04 気候変動が進むなか釧路湿原が湿地として残っていくには

○山本 太郎(一般財団法人北海道河川財団), 稲垣 乃吾, 嵯峨井 聖貴(北海道開発局釧路開発建設部)

05 変動環境下の河川生態系動態・応答

○根岸 淳二郎(北海道大学環境科学研究院)

06 暴風雪・大雪の評価技術資料について

○原田 裕介, 大宮 哲, 武知 洋太, 西村 敦史(土木研究所寒地土木研究所)

●ポスターセッションおよび昼休憩(11:25~13:05)

●奇数番号コアタイム (11:25-11:55)

●偶数番号コアタイム (12:35-13:05)

●**基調講演 2 題**(13:10~14:10)

A01 大規模アンサンブル気候変動情報の農業への応用例

○稲津 将, 山本 莉央(北海道大学理学研究院), 大石 溪登(気象庁), 菅原 邦泰(土木研究所寒地土木研究所), 廣田 知良(九州大学農学研究院)

A02 気候変動下における風水害リスクと防災行動の促進

○山田 朋人(北海道大学工学研究院)

●**休憩**(14:10~14:20)

●**基調講演 2 題** (14:20~15:20)

A03 気候変動への適応・流域治水を真剣に進めよう

○中津川 誠(室蘭工業大学大学院工学研究科)

A04 「気候変動の影響」を「地域づくり」へとつなぐ

○鈴木 啓明, 大屋 祐太, 三村 慧, 野口 泉(北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所)

●**休憩**(15:20~15:30)

●**口頭セッション 3 題** (15:30~16:15)

07 雲微物理プロセスの将来変化から読み解く、北海道における将来の降雪粒子特性

○佐藤 陽祐(北海道大学大学院理学研究院), 橋本 明弘(気象庁気象研究所), 鎌田 萌花, 加藤 真奈(北海道大学大学院理学院), 稲津将(北海道大学大学院理学研究院), 丹治 和博(日本気象協会北海道支社), 川添 祥(電力中央研究所)

08 新しい擬似温暖化実験手法によって評価した2021年12月の札幌大雪に対する温暖化の寄与

○佐藤 友徳(北海道大学大学院地球環境科学研究院), 田村 健太(防災科学技術研究所)

09 豪雨による斜面崩壊リスクへの気候変動に伴う影響評価

○仁科 健二, 大屋 祐太, 川上 源太郎, 加瀬 善洋, 小安 浩理, 宇佐見 星弥, 藤原 寛, 岡崎 紀俊, 石丸 聡(北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所)

●**休憩**(16:15~16:25)

●**口頭セッション 3 題** (16:25~17:10)

10 積雪状況の変動予測と農業・農地に及ぼす影響について

○小南 靖弘(農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター)

11 開放系 CO2 増加 (FACE) 実験による落葉広葉樹林床からのメタン発生の予想

○小池 孝良(北海道大学農学研究院), 高木 健太郎(北海道大学・北方生物圏フィールド科学センター)

12 気候変動下における北海道サケ漁業の現状

○ト部 浩一(北海道立総合研究機構さけます・内水面水産試験場)

●閉会あいさつ (17:10~17:20) (稲津 將)

●ポスターセッション (11:25~13:05)

●奇数番号コアタイム (11:25-11:55)

●偶数番号コアタイム (12:35-13:05)

P01 暴風雪・大雪時の災害デジタルアーカイブの作成

○原田 裕介, 大宮 哲, 武知 洋太, 西村 敦史(土木研究所寒地土木研究所)

P02 北海道における雪崩発生に関わる融雪初日の変化傾向について

○松下 拓樹, 櫻井 俊光, 吉井 昭博, 西村 敦史(土木研究所寒地土木研究所)

P03 河川水温の将来予測と適応策の効果 -水温データの活用による水循環の理解向上の可能性-

○星野 剛, 山田 嵩, 布川雅典(土木研究所寒地土木研究所)

P04 北日本周辺の高い海面水温が北海道における熱ストレスに対して及ぼした影響

○森岡 丈博(北海道大学環境科学院), 佐藤 友徳(北海道大学大学院地球環境科学研究院)

P05 1982年から2022年における水害アンケート調査結果に基づく避難率の特徴

○戸村 翔, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P06 千曲川と利根川上流域における山間地での地形性降雨の要因分析と将来予測

○岡地 寛季, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P07 札幌における冬季集中観測データと鉛直一次元積雪モデルを用いた積雪密度変化特性の分析

○岡地 寛季, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P08 石狩川流域において生じる豪雨と発生環境場の将来変化

○宮本 真希, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P09 谷津地形を活用した洪水緩和に向けた取り組み

○伊藤 毅彦, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P10 地形適合格子を用いた道路等の線状建造物の有無が氾濫流に与える影響評価 -2015年鬼怒川水害を対象として-

○石原 道秀, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P11 Applicability of deep learning based detection of surface weather fronts on large scale climate models.

○Yiwen Mao, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P12 気候予測情報の防災訓練への活用に向けた危害の分析

○鈴木 章弘(北海道大学大学院工学院), 石塚宗司, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P13 Analyzing Recent Trends in River Meandering and Channelization Using Remote Sensing and Satellite Imagery: Case Studies of the Tokachi River and Kushiro Wetland in Hokkaido, Japan.

○POJSILAPACHAI Waruth (北海道大学大学院工学院), 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P14 石狩川流域における塩水遡上発生時の水理・水文・気象学的要因の分析及び発生頻度の将来予測

○田中 健人(北海道大学大学院工学院), 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P15 積雪現地観測データを活用した豊平川流域における積雪・融雪特性および積雪の変質過程を考慮した融雪モデル

○長谷川 禎史(北海道大学大学院工学院), 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P16 Spatial Patterns of Line-Shaped Rainbands under Diverse Meteorological Background.

○Xuxiang Ye(北海道大学大学院工学院), Yiwen Mao, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P17 日本周辺域の線状降水帯を対象とした地形の影響

○神辺 大地(北海道大学大学院工学院), 大屋 祐太(北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所), 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P18 芽室川における河道断面の抽出と流出から氾濫までの数値解析について

○古岡 應次郎(北海道大学大学院工学院), 伊藤 毅彦(北海道大学大学院工学研究院), 萬矢 敦啓 (土木研究所), 千葉 学 (一般財団法人北海道河川財団), 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P19 ダム放流操作に対するモデル予測制御の適用

○渡邊 英佑(北海道大学工学部), 伊藤毅彦, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P20 理想化した流域を対象とした費用便益分析手法の検討

○上野 宗慈(北海道大学工学部), 伊藤毅彦, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P21 情報量と気象場の保存則に基づいた時間連続的なアンサンブル気候情報の創出

○長澤 晶輝(北海道大学工学部), 清水 啓太, 宮本 真希, 岡地 寛季, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P22 確率限界法検定に基づく極値水文時系列の長期変動特性の評価

○本木 翔雲(北海道大学工学部), 清水 啓太, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P23 十勝平野の農地における水ポテンシャル評価

○金城 敦也(北海道大学工学部), 石原 道秀, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P24 管路流れとの類似性を考慮したダウンバースト現象の水理学的分析

○福島 広人(北海道大学工学部), 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P25 自己組織化マップとWRFモデルを用いた気象パターンの分類

○Hsu Chen-Yu(北海道大学工学部), 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P26 複数の水害事例を対象とした住民避難率と避難情報の関係分析

○山口 慈永(北海道大学工学部), 清水 啓太, 岩崎 由加子, 戸村 翔, 石塚 宗司, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P27 衛星データを用いた河川流路の年次変動分析

○服部 天海(北海道大学工学部), 石塚 宗司, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P28 気候ビックデータと情報理論の統合に基づく極値降雨量の将来予測

○清水 啓太, 山田 朋人(北海道大学大学院工学研究院)

P29 気候変動による身近な自然現象への影響評価 ～ダイヤモンドダストを例に～

○長谷川 祥樹(北海道立総合研究機構北方建築総合研究所), 鈴木 啓明, 野口 泉, 山口 高志, 大屋 祐太(北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所), 牛島 健(北海道立総合研究機構北方建築総合研究所)

P30 気候変動適応広域アクションプラン策定事業(環境省請負業務)における成果について

○福井 隆, 石澤 沙耶香, 坂爪 里英, 井川 周三, 高山 楓, 鈴木 ゆう子, 長野 永実(日本エヌ・ユー・エス株式会社), 香川 謹吾(環境省北海道地方環境事務所)

P31 公開気象データを用いた通年流出計算手法の研究

○平沢 陽子, 中津川 誠(室蘭工業大学大学院工学研究科)

P32 機械学習手法を用いたダム流入量予測の一般化の研究

○鈴木 拓真, 中津川 誠, 小林 洋介(室蘭工業大学大学院工学研究科)

P33 予測雨量の空間不確実性を考慮した長時間のダム流入量予測の研究

○井上 喜貴(室蘭工業大学創造工学科), 渡辺 修, 中津川 誠, 小林 洋介(室蘭工業大学大学院工学研究科)

P34 降雨と融雪を考慮した斜面災害発生の判定基準の検討

○南崎 湧哉(室蘭工業大学創造工学科), 片寄 陸, 中津川 誠(室蘭工業大学大学院工学研究科)

P35 水害リスクの我が事化に向けたリスク評価・提示手法に関する研究～住宅の浸水を例として～

○植村 郁彦, 田口 真矢, 舩屋 繁和, 大村 宣明, 吉田 隆年(株式会社ドーコン), 千葉 学(北海道河川財団), 秩父 宏太郎(国土交通省北海道開発局建設部)

P36 実測に基づく積雪寒冷地の過去 20 年間のダム流入量の変化について

○谷口 陽子, 安保 偉臣理, 稲垣 悠喜, 工藤 奏樂(苫小牧高等専門学校)

P37 Annual and inter-annual variations of tropospheric ozone in Sapporo. - the role of transport in the springtime peak-

○Jommy KWOK (北海道大学大学院環境科学院), 藤原 正智(北海道大学大学院地球環境科学研究院)

P38 河川上流域の地質の違いに応じた河川水温の将来予測

○鈴木 啓明(北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所), 中津川 誠(室蘭工業大学大学院工学研究科), 石山 信雄(北海道大学大学院農学研究院)

P39 2023 年夏季に発生した北海道の猛暑と熱中症搬送者の特徴 ○大屋 祐太, 鈴木 啓明, 三村 慧, 野口 泉(北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所)

P40 暑さによる影響 - 気候変動による気温上昇に備えて-

○野口 泉, 鈴木 啓明, 大屋 祐太, 三村 慧(北海道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所)